

私たちは、健康で豊かな社会の実現に貢献します

Towards realization of healthy and prosperous society



## 2023年3月期(第14期)第3四半期 決算説明資料

2023年2月

株式会社 バイタルケーエスケー・ホールディングス

©VITAL KSK HOLDINGS, INC.

株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 代表取締役社長の村井でございます。

私から、2023年3月期 第3四半期の決算概要についてお話をさせていただきます。

# 1 2023年3月期 第3四半期 決算ハイライト

それでは、まず、2023年3月期 第3四半期決算ハイライトについてご説明いたします。

## 2023年3月期 第3四半期 損益概況

単位:百万円、%

	前期実績		2023年3月期 第3四半期実績			
	金額	売上比	金額	売上比	前同比	進捗率※
売上高	439,329	-	443,190	-	100.9	78.1
営業利益	2,086	0.47	1,866	0.42	89.5	96.2
経常利益	4,220	0.96	4,302	0.97	101.9	87.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,448	0.56	2,433	0.55	99.4	55.3

※ 進捗率は、2022年11月8日発表の通期業績予想に対して

当期の売上高は、主に新型コロナウイルス感染症関連商品の販売増により、前年同期比100.9%、通期業績予想に対する進捗率78.1%の4,431億90百万円となりました。

営業利益は前年同期比89.5%、通期業績予想に対する進捗率96.2%の18億66百万円となりました。前年同期実績を下回った主な要因は、第2四半期において、当社グループが保有する債権において取立不能のおそれが生じたことによる貸倒引当金を計上したためであります。

経常利益は、第2四半期において投資事業組合運用益を計上した結果、前年同期比101.9%、通期業績予想に対する進捗率87.8%の43億2百万円となりました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比99.4%、通期業績予想に対する進捗率55.3%の24億33百万円となりました。

## セグメント別利益

医療用医薬品	99.5%
試薬医療機器	120.7%
一般用医薬品	108.7%

単位:百万円、%

	医薬品卸売事業 ※1			薬局事業 ※2		動物用医薬品卸売事業 ※3		その他事業 ※4	
	実績	売上比	前同比	実績	前同比	実績	前同比	実績	前同比
売上高	418,262	—	100.8	13,769	99.8	8,157	103.9	3,000	107.5
売上総利益	28,080	6.71	106.2	3,571	97.8	1,264	102.6	2,825	99.6
販管費	26,457	6.33	106.9	3,494	100.1	988	108.2	3,061	103.6
営業利益	1,623	0.39	96.1	77	47.5	276	86.8	▲236	—

※1: バイタルケーエスケー・ホールディングス、バイタルネット、ケーエスケー

※2: オオノ、グッドネイバー、健康堂薬局

※3: アグロジャパン

※4: 農業卸売事業、介護事業等

※5: セグメント間の販管費調整額の記載を省略しているため、セグメント別の販管費と営業利益を合計しても前頁の合計額に一致しません。

では、セグメント別利益についてご説明いたします。

まず医薬品卸売事業につきましては、主に新型コロナウイルス感染症関連の医療機器や臨床検査試薬等の販売が堅調に推移したため、試薬医療機器の販売伸長率が120.7%となり、売上高は前年同期比100.8%の4,182億62百万円となりました。売上総利益は、前年同期比106.2%の280億80百万円です。販管費は、当社グループが保有する債権において取立不能のおそれが生じたことによる貸倒引当金を計上したため前年同期比106.9%の264億57百万円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比96.1%の16億23百万円となりました。

次に、薬局事業です。国が求めるかかりつけ薬局を目指し、関連する調剤報酬の算定に努めましたが、薬価改定の影響により、売上高は前年同期比99.8%の137億69百万円、売上総利益は前年同期比97.8%の35億71百万円となりました。販管費は前年同期比100.1%の34億94百万円です。その結果、営業利益は77百万円となりました。

続いて、動物用医薬品卸売事業についてです。売上高は、高利益商品の販売増により前年同期比103.9%の81億57百万円。売上総利益も前年同期比

102.6%の12億64百万円を計上しました。販管費は、前年同期比108.2%の9億88百万円となりました。その結果、営業利益は前年同期比86.8%の2億76百万円となりました。

最後に、その他事業については、農薬卸売事業の販売が好調だったものの、新型コロナウイルスの影響で介護事業やスポーツ関連施設運営事業等の業績が振るわず、結果として2億36百万円の営業赤字となりました。

# 2 2023年3月期 通期 業績予想

続きまして、2023年3月期 通期業績予想についてご説明いたします。

## 2023年3月期 通期業績予想

単位:百万円、%

	前 期 実 績		2023年3月期 通 期 予 想		
	金 額	売 上 比	金 額	売 上 比	前 期 比
売上高	577,249	—	567,300	—	98.3
営業利益	2,945	0.51	1,940	0.34	65.9
経常利益	5,834	1.01	4,900	0.86	84.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,770	0.83	4,400	0.78	92.2

2023年3月期の通期業績予想については、2022年11月8日にリリースした内容から現時点で変更ございません。

# 3

(再掲) 2022年10月28日に公表した資料より  
株主還元策の充実について

最後に、2022年10月28日に公表いたしました「株主還元策の充実」について、改めてご説明いたします。



■ 株主資本配当率(DOE)を採用し、今後の配当方針は毎期DOE2%以上に

当期(2023年3月期)の1株当たりの配当予想の変更

	変更前	変更後
1株当たり配当金	年間24円(中間12円、期末12円)	年間39円※(中間12円、期末27円)

■ 株主還元の方針として、総還元性向は50%以上に

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 見込	2024年3月期 以降の方針
年間配当金	24.0円	12.0円	26.0円 (特別配当2円を含む)	39.0円	DOE2%以上
自己株式取得	140万株 (1,498百万円)	—	200万株 (1,559百万円)	145万株 (998百万円)	未定
総還元性向	61.0%	56.4%	62.0%	68.7%	50.0%以上

当社では企業価値向上に向けた取り組みの強化を進めており、その一環として株主還元策の充実にも努めてまいります。

まず配当方針については、今期より従来の「配当性向25%以上」から、単年度の業績変動の影響を受けにくい株主資本配当率(DOE)を採用し「DOE2%以上」に変更いたします。これにより、当期の配当予想につきましては、当初の中間12円、期末12円の年間24円を、中間12円、期末27円の年間で39円といたします。

次に、株主還元の方針についてです。

現在、当社の自己資本比率は30%程度と決して高い水準にはなく、今後も財務の健全性を維持する必要があるとございます。しかし一方で、株主の皆様へ最大限配慮した還元策を講じるべきという趣旨から、「総還元性向50%以上」を目標に、今後も株主還元を実施してまいります。

## 2023年3月期の株主還元策

### ■ 当期純利益の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,171百万円	4,770百万円	4,400百万円

### ■ 1株当たりの当期純利益の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想
1株当たりの当期純利益	21.3円	87.9円	84.4円

### ■ 株主還元策の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予想
1株当たり配当金	12円 中間配当12円 + 期末配当 0円	26円 中間配当12円 + 期末配当14円 (特別配当2円含む)	39円 中間配当12円 + 期末配当27円
連結配当性向	56.4%	29.6%	46.0%
自己株式の取得	-	200万株 (1,559百万円)	145万株 (998百万円)
総還元性向	56.4%	62.0%	68.7%

以上より、2023年3月期の株主還元策をまとめますと、このようになります。

先程お話した通り、今期より配当方針を「DOE2%以上」に変更いたしました。よって、期末配当金につきましては27円、年間で39円とすることにいたしました。これにより、連結配当性向は46.0%となります。総還元性向は、2022年6月に145万株の自己株式取得を実施しているため、年間配当分と合わせて68.7%になる予定です。

## ■ 将来見通しに係る記述事項

本資料で記述されている当社の将来の計画・戦略・業績予想などは現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、経済情勢・市場環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績はこれらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを、ご承知おきください。

従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際にこれらの見通しのみで全面的に依拠することは避けていただきますようお願いいたします。

また、本資料に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したりこれらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。

投資に関するご判断は、ご自身にてお願いいたします。

将来見通しに係る記述事項につきましては、ここに書かれている通りです。

■ お問い合わせ先

株式会社 **バイタルケースケーホールディングス**

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5787-8550

Mail : [ir@vitalksk.co.jp](mailto:ir@vitalksk.co.jp)

担当 : 佐藤、南城

最後に、本日お話しした内容に関するお問い合わせにつきましては、当社コーポレートコミュニケーション部までお寄せいただきますようお願いいたします。

以上を持ちまして、私からの決算関係のご説明を終わります。